

GOAT

小説を、心の栄養に。

次号の「GOAT」第3号は
12月3日発売決定！

ジャンルを超えた作家たちが寄稿する
大特集は「美」

「美」の大特集に絡めて、異業界とのコラボや著名人参加企画も企画中です！

編集特集では、恒例となった加藤シゲアキさんが選考委員を務める「GOAT×monogatory.com文学賞」の発表も行います。

★「美」に関連のある広告主様などございましたら、何なりとご連絡下さい。

2025年6月4日発売第2号



2024年11月27日発売創刊号

<https://dps.shogakukan.co.jp/goat>

刊行形態	不定期刊
次号発売日	2025年12月3日発売予定
予価	510円（本体464円）
判型	A5判
創刊	2024年11月27日
発行部数	4万部

編集長メッセージ

紙で刊行する新文芸誌「GOAT」は、

「自分たちが心の底から読みたい、みんなに読んでほしい小説を集めた文芸誌を作りたい」という編集部の思いから誕生しました。

誌名の由来は、紙を愛してやまない《ヤギ》と、

《Greatest Of All Time（＝史上最高の）》の頭文字から。

「かつてない紙の文芸誌を作りたい」という気持ちを込めています。

エンタメや純文学といった線引きは一切なしで、もっと小説をカジュアルに。

心の栄養になるような、ただ純粹に「面白い!」と思ってもらえるような小説をお届けしていきます。

また、新たな読者と出会うためのアクセシブルな試み

（読書バリアフリー）や、小説界にとどまらないクリエイターの発掘にも積極的にGo at（＝取り組む）していきます。小説の新たな可能性を探っていきましょう。

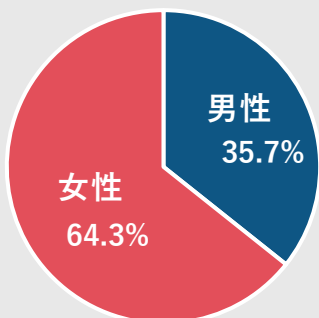
編集長 三橋 薫



主な読者層・発行部数

創刊号、第2号ともに、加藤シゲアキさん、藤ヶ谷太輔さんなどの起用もあり比較的女性から支持されています。また、年齢別ではおもに20代～50代が中心読者となっており、一般的な文芸誌よりも活動的な幅広い層に購読されています。

性別



女性が6割

創刊号 2024年11月発売



累計6刷56,000部＋電子2,000DL

累計58,000部

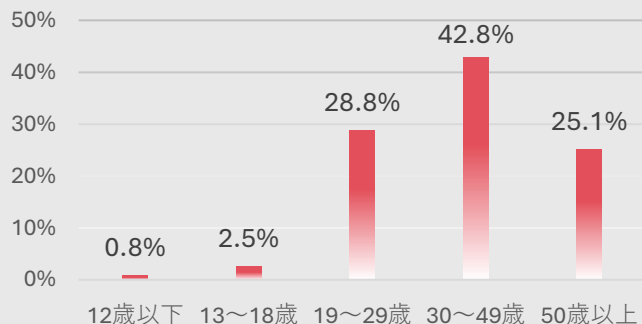
第2号 2025年6月発売



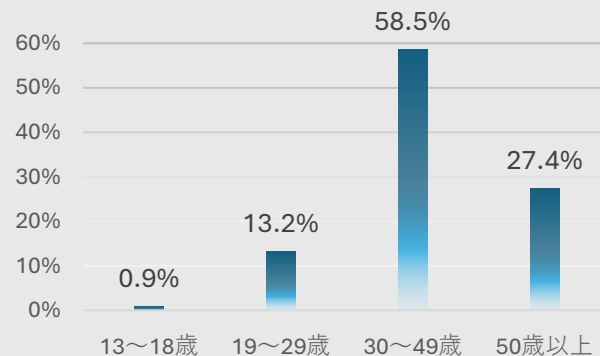
累計4刷55,000部

累計55,000部

女性年齢別



男性年齢別



リサイクル、サステナブルな「GOAT」の方向性に沿った過去のタイアップ事例

『GOAT』のマスコットキャラクター「ゴートくん」。素朴でゆるゆるとした姿が愛らしく、創刊2号目にして、はやくも読者に大人気。そんな「ゴートくん」を起用したイラストタイアップは、ちょっとした箸休めとして多くの読者に届きました。

エプソン販売株式会社様

新たな紙の可能性を開く②

ゴートくんがゆく！ 小学館「再生紙工房」編

小学館が編集部から出た古紙を回収し、社内で新たな再生紙を製造している…そんな噂を聞きつけたゴートくんが、小学館本社から徒歩3分の再生紙工房にやってきました！

これがPaperLabだ！

再生紙工房では、2003年秋よりエプソンの「乾式オフィス製紙機」(PaperLab A-8000)を導入し、A4とA5の常用紙からコピー用紙から、再生紙(ドライファイバーパー)を生み出しています。再生紙は厚みや色もかえて生産できます。コピー用紙としての再利用のほか、再生した紙を加工することで変形やリサイクル、オリジナルノベルティなども作成可能です。
[小学館「再生紙工房」05-6577-2121]

3 再生紙が完成！

投げ込みチラシ オリジナルノート

再び印刷へ
環境に配慮した複合機

2 PaperLabに通す

PaperLab(ペーパーラボ)は、エプソンが2016年に発売した使用済みの古紙を原料として、新たな紙を生産できる乾式オフィス製紙機です。環境配慮はもちろんのこと、再生サイクルが定形で完結するので、環境管理にも優れています。

PR
協力/エプソン販売株式会社

[PaperLab製品] [スマートデジ印刷] [環境共創の取組]

今回、『GOAT』では、作家たちの得意サインを掲載したペーパーを作り、本誌にはさんでいます。(2巻のみ)

エプソン販売の「Paper Lab」は古紙から再生紙を作る乾式製紙機。比較的小さなスペースに設置可能で、事業所単位での導入も進んでいます。小学館にも導入されており、その再生紙は『GOAT』にチラシなどでも使用されています。その再生紙作成過程を紙が大好きな「ゴートくん」に体験してもらうタイアップを実施しました。

全国農業協同組合連合会様

新たな紙の可能性を開く①

ゴートくんがゆく！ Rems ペーパー編

企業の加工・製造過程で余ったもの(残液)を原料として、大王製紙が新たな紙をつくっている…そんな噂を聞きつけた、ゴートくんが向かった先は、田んぼでした。

私たちの農業にならぶお米。それは収穫した稲からを乾燥させ、もみ殻を取り除き(5.5米)、さらに精米されることで出来上がります。その過程で大量に出るもみ殻の一部は、廃棄業者へ輸送で処分するだけでなく、農家の悩みのひとつでした。もみ殻の有効活用を考えるJ全農は、このたび大王製紙と協働して解決しました。

もみ殻が紙に？

もみ殻は、大王製紙の工場では紙の原料となるパルプと混ぜ合わされ、さまざまな工程を経て、新たな紙として生まれ変わります。こうして新たな紙に生まれ、名刺、封筒、本など、多種多様な製成品として使われています。

今回、「愛と再生」特集に使われたのは、まさにJ全農と大王製紙のコラボによって生まれたRemsスタンダードFSです。紙のエコサイクルは新たな時代へ、「GOAT」もサステナブルな社会を創ります。

Rems
スタンダードFS

大王製紙とJ全農のコラボによって生まれた紙である「Rems」。廃棄されることの多いもみ殻を紙の原料として有効利用し、パルプに混ぜて作られたものです。その製造過程を「ゴートくん」起用のイラストを使い、わかりやすく解説。その紙は実際に『GOAT』創刊号でも使用され、サステナブルな社会を目指す広告主さまのイメージアップに繋がりました。

広告メニュー

スペース	掲載料金（円）	原稿寸法 （天地×左右mm）	申込〆切	校了
表 4	500,000	157×148	発売日の 80日前	発売日の 30日前
表 2	400,000	210×148	発売日の 50日前	
4 C2P タイアップ	1,500,000	210×296	発売日の 80日前目安	同上
1C2P タイアップ	1,000,000	210×296		

表 4，表 2 につきましては、重要な文字、絵柄は、天地各5mm 左右各5mm（ただし、ノド側は7mm）
入ってくるこないよう作成いただきますようお願いいたします

お問い合わせ先

小学館 広告局 吉田 圭一郎

☎ 03-3230-5364

Mail : yoshi116@mail.shogakukan.co.jp



※小説家起用タイアップにつきましては、担当までご相談ください（別途、起用料がかかります）